

プログラム：3月8日（土）～9日（日）

3月8日			
10:00 - 10:10	開会の辞	松村	司会 吉本
1.森林管理情報活用			座長 広嶋
10:10 - 10:35	木造建造物文化財に使用する立木評価に関する研究 — 製材品の規格および質を推定する方法について—	佐藤樹里	東京大学
10:35 - 11:00	育林作業の作業能率と地形・地理条件	當山啓介	東京大学
11:00 - 11:25	森林地域に期待されるインターネット活用効果	田中万里子	東京農業大学
11:25 - 13:00	ランチ		
2.サンプリング調査			座長 佐々木
13:00 - 13:25	Combined use of c-tree sampling and Mean of Angles in estimating density and indexing spatial patterns of trees	Stanko Trifkovic	The University of Tokyo
13:25 - 13:50	冠雪害リスクが高いスギ林の特徴	嘉戸昭夫	富山県林業技術センター
13:50 - 14:15	休憩		
3.森林経済と管理論			座長 松村
14:15 - 14:40	「成熟」概念を用いた柔軟な保続理論	白石則彦	東京大学
14:40 - 15:05	ヒノキ天然木の更新状況と資源管理上の問題点	山本博一	東京大学
15:05 - 15:30	F A O 林産物統計に基づく林産物需給モデル化における諸問題	岡裕 泰	森林総合研究所関西支所
15:30 - 16:00	休憩		
4.基調講演			座長 吉本
16:00 - 17:00	日本における森林経済の計量的アプローチ～軌跡と動向～	行武 潔	宮崎大学農学部
3月9日			
5.間伐・リスク管理			座長 近藤
9:00 - 9:25	An analysis of forest owners' feelings regarding the implementation of thinning: A case study in Hayakawa, Yamanashi Prefecture, Japan	中島 徹	東京大学
9:25 - 9:50	富山県シルブの森成長モデルを用いた間伐手法・強度・時期の最適化	木島真志	東北大学
9:50 - 10:15	自然災害リスク評価におけるロジスティック回帰モデルの適用	加茂憲一	札幌医科大学
10:15 - 10:35	休憩		
6.モニタリングと拡散モデル			座長 木島
10:35 - 11:00	ニホンジカの生息密度とその被害との関係 - 剥皮害を中心として -	近藤洋史	森林総合研究所九州支所
11:00 - 11:25	松くい虫被害量推移モデルの有効性について	稲田充男	豊橋創造大学
11:25 - 11:50	Cost and benefit estimation of forest management model to be potentially applied for CDM project - A case study of <i>Acacia mangium</i> plantation in Indonesia	松村直人	三重大学
11:50 - 12:00	閉会の辞	吉本	